

子どもの自己決定を求める授業づくり

—総合学習「宿泊学習」の実践から—

藤村佳令

1 学習の場における児童の自己決定について

児童が自ら考え、決定していく行為は、能動的であり、それが積み重ねられていくことにより、児童の主体的な生活や自立に向けての育成を期待することができる。学校生活においても、あらゆる活動の場で、児童が自己決定できる活動を保障していきたいものである。

本学級では、毎日の朝の会において、児童が自ら考え決定していく場を設けている。これは、朝の会で歌う曲を、歌いたいと思う多くの曲の中から、数曲だけ決めるというものである。児童は、あれも歌いたい、これも歌いたいと迷いながらも、2～3曲だけに絞り込んで決定していく。

児童に自己決定を求めるには、具体的にはどのような手だてが必要なのであろうか。本学級の朝の会を例にとれば、歌が好きであるという児童の実態と、歌いたいという活動意欲が児童にある。次に、時間的に数曲しか歌えないため、選曲しなければならないという必然性がある。さらに、決定した曲は、必ず朝の会で歌えるという楽しみがある。これら全ての要因により、児童は自己決定ができるのであろうと考える。以上のことから、児童の自己決定を求めるために、次の点を踏まえた授業づくりが必要であると思われる。

- 児童の実態と合致し、活動意欲を喚起できる題材（単元）である。
- 児童が自己決定する必然性のある活動内容である。
- 児童が決定したことを尊重できる環境である。

2 指導事例「宿泊学習」

(1) 単元について

宿泊学習は、家庭から離れて学校に泊まるという児童にとっては特別な意味を持つ活動であり、宿泊することに加えて、調理活動やレクリエーション活動など、児童の意欲的な取り組みが期待できる内容を多く含んでいる。また、生活、集団、健康の面から児童の実態を把握することができ、総合的に学習を展開することができる。宿泊学習の活動一つ一つに、児童が自ら考え、決定していく内容を盛り込んでいくことにより、自立へ向かう児童を育成できると考える。

宿泊学習は、次の点に配慮して年3回実施している。

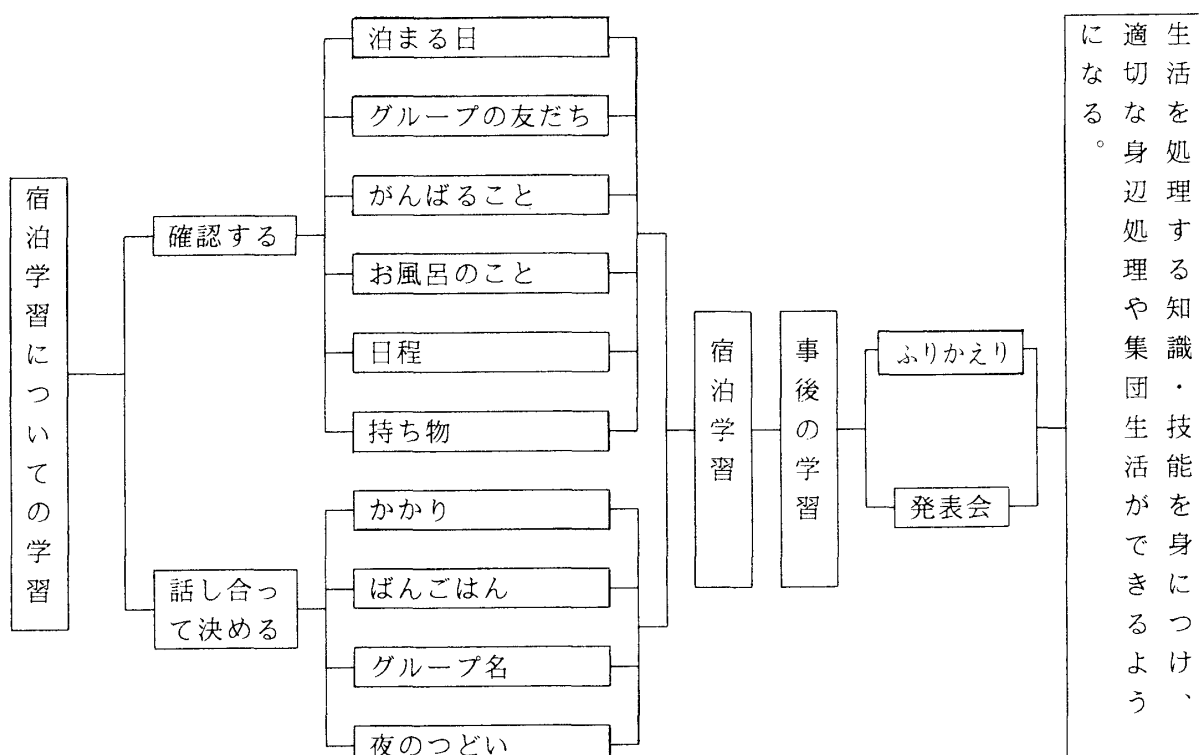
- 第1回（6月）…新しい集団の人間関係を密にし、進級した上級生が過去の経験を生かせるようにする。
- 第2回（10月）…活動内容をできるだけ児童が選択、決定できるようにする。
- 第3回（11月）…校外の施設での宿泊など、内容を発展する。

この内、10月に実施する第2回宿泊学習が、児童に自己決定を求めやすい内容を最も多く含んでいる。ここでは、第2回宿泊学習についての事例を報告する。

(2) 指導目標

- ① 家庭から離れて生活することにより、心理的な自立と生活を処理する知識、技能の定着、発展を図る。
- ② 宿泊を伴う共同生活を通して、集団活動の楽しさとそのきまりを体得するとともに、交友関係を深める。

(3) 指導内容と計画



(4) 自己決定との関わりについて

宿泊学習の次の活動で、児童に自己決定を求められる。

<事前>

- ①係活動の決定 ②夕飯メニューの決定 ③グループ名の決定 ④レクリエーション
内容の決定

<当日>

- ⑤買い物の分担の決定 ⑥朝食の決定

① 係活動の決定

宿泊学習の係活動は、次の通りである。

- 班長（宿泊グループのリーダー。全体をまとめたり、荷物調べの進行等を担当する）
- お金集め係（宿泊費用を徴収する）
- お米集め係（各児持参の米を集める）
- 掃除係（宿泊をする部屋の掃除をする）
- 準備係（調理に必要な材料や道具を家庭科室に準備する）
- 食事係（夕食の配膳に関わる活動をする）
- レクリエーション係（レクリエーションの企画進行をする。高学年が担当する）

係活動の内容が想起できる絵カードを提示し、どの係をやりたいか決定を求める。希望が集中した場合には、話し合いにより決定していく。

② 夕飯メニューの決定

夕飯メニューは、予めいくつかのメニューを絵カードにして提示し、どれを食べたいか決定を求

める。希望が分散した場合には、なるべく一つのメニューになるように話し合いをする。

③ グループ名の決定

テレビ番組や絵本のキャラクターの中から、グループ名として決定を求める。班長を中心として、話し合いにより決定する。

④ レクリエーション内容の決定

レクリエーションは、夕食後体育館で行う。この企画・進行は、高学年が担当している。高学年児童は、宿泊学習のレクリエーションの他に、1年生を迎える会やお世話になった先生とのお別れ会、教育実習生とのお別れ会など、1年間に10回ものレクリエーションの企画・進行を担当する。これまで経験してきたことをもとに、歌や踊りなどみんなが楽しめるレクリエーションを考え、具体的な内容について決定していく。

⑤ 買い物の分担の決定

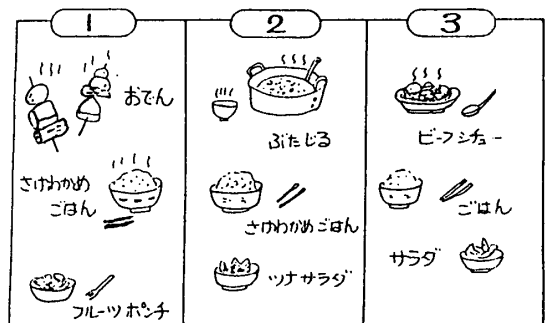
夕食に必要な材料の写真カードを提示し、誰がどれを買うか決定を求める。希望が集中した場合には話し合いにより決定していく。

⑥ 朝食の決定

買い物の分担をして出かけた商店で、翌日の自分用の朝食（パンと飲み物）を、たくさんの商品の中から決定して買い求める。

(5) 自己決定に関わる実態と課題

ばんごはんをきめよう



<夕飯メニュー>



<商店での買い物>

実 態	課 題	児童
自分の日常的な生活の中で、したいこと好きなこと（物）が確定している。	具体物を手がかりに、2者の中から自己決定することができるようになる。	⑬
学習や活動場面で、具体的な2者以上の中からしたいことを選ぶ。	具体物を手がかりに、学習や活動のイメージを持って自己決定ができるようになる。	⑭
学習や活動をイメージして、2者以上の中からしたいことを表す。	具体物がなくても学習や活動にイメージを持つことができ、自己決定ができるようになる	⑮
学習や活動をイメージして、これまでの経験の中からしたいことを表す。	これまでの経験から学習や活動の内容を自分なりに考え、自己決定ができるようになる。	⑯
自分の生活の中で、これまでの経験を生かして進んで活動していく。	これまでの経験から自己決定したことを、行動化することができるようになる。	⑰

(6) 自己決定に関わる目標行動

児童	目 標 行 動
⑬	絵カードをもとに係や買い物の内容がわかり，その中から決定することができる。提示された内容をもとに，レクリエーションに対するイメージを持ち，やってみたい内容を決定することができる。
⑭	これまでの経験をもとにレクリエーションに対するイメージを持って内容を考え，その中から最もやってみたいものを決定することができる。係や買い物に対するイメージを持って決定することができる。
⑮	これまでの経験をもとに係や買い物に対するイメージを持ち，その中から活動内容を決定することができる。レクリエーションに対するイメージを持って内容を考え，決定することができる。
⑯	これまでの経験をもとに係や買い物に対するイメージを持ち，その中から活動内容を決定することができる。レクリエーションに対するイメージを持って内容を考え，決定することができる。
⑰	絵カードをもとに係や買い物の内容がわかり，その中から決定することができる。提示された内容をもとにレクリエーションをすることがわかり，やってみたい内容を決定することができる。
⑱	絵カードをもとに夕飯の内容がわかり，その中から決定することができる。提示された内容をもとにレクリエーションをすることがわかり，やってみたい内容を決定することができる。

(7) 活動の様子

それぞれの活動における児童の様子は，次のようであった。

児童 活動	⑬	⑭	⑮
係活動の決定	提示された係の中から，やりたい係を決めて選んだ。	提示された係の中から，今までの経験をもとにやりたい係を決めて選んだ	提示された係の中から，今までの経験をもとにやりたい係を決めて選んだ
夕飯メニューの決定	提示されたメニューの中から，今までの経験をもとに，最も食べたいメニューを決めて選んだ。	提示されたメニューの中から，今までの経験をもとに，最も食べたいメニューを決めて選んだ。	提示されたメニューの中から，今までの経験をもとに，最も食べたいメニューを決めて選んだ。

グループ名の決定	友だちの発言により提示されたキャラクターから決めて選んだ。	友だちの発言により提示されたキャラクターから決めて選んだ。	今までの経験から、好きなキャラクターを決めて選んだ。
レクリエーション内容の決定	友だちの発言により提示された内容から、やりたいものを選んで決めた。	今までの経験から、やりたい内容をいくつか考えその中から特にやりたいものを選んで決めた。	今までの経験や友だちの発言により提示された内容から、やりたい内容を選んで決めた。
買い物の分担の決定	提示された材料の中から買ってみたい品を決めて選んだ。	今までの経験をもとに、提示された材料の中から買ってみたい品を決めて選んだ。	今までの経験をもとに、提示された材料の中から買ってみたい品を決めて選んだ。
朝食の決定	今までの経験から、好きな品を決めて選んだ。	おいしそうな品を決めて選んだ。	今までの経験から、好きな品を決めて選んだ。

児童活動	⑬	⑭	⑮
係活動の決定	提示された係の中から、今までの経験をもとにやりたい係を決めて選んだ。	提示された係の中から、指導者の言葉かけにより決めた。	提示された係の中から、指導者の言葉かけにより決めた。
夕飯メニューの決定	提示されたメニューの中から、今までの経験をもとに、最も食べたいメニューを決めて選んだ。	提示されたメニューの中から、最も食べたいメニューを決めて選んだ。	提示されたメニューの中から、最も食べたいメニューを決めて選んだ。
グループ名の決定	今までの経験から、好きなキャラクターを決めて選んだ。	友だちの発言により提示されたキャラクターから指導者の言葉かけにより決めた。	友だちの発言により提示されたキャラクターから指導者の言葉かけにより決めた。
レクリエーション内容の決定	今までの経験や友だちの発言により提示された内容から、やりたい内容を選んで決めた。	友だちの発言により提示された内容から、指導者の言葉かけによりやりたい内容を決めた。	友だちの発言により提示された内容から、指導者の言葉かけによりやりたい内容を決めた。
買い物の分担の決定	今までの経験をもとに、提示された材料の中から	提示された材料の中から買ってみたい品を決めて	提示された材料の中から指導者の言葉かけにより

	買ってみたい品を決めて選んだ。	選んだ。	買うものを決めた。
朝食の決定	今までの経験から、好きな品を決めて選んだ。	今までの経験から、好きな品を決めて選んだ。	おいしそうな品を決めて選んだ。

3 考 察

(1) 児童の実態と合致し、活動意欲を喚起できる題材(単元)であったか。

宿泊学習は、身辺処理、集団活動といった児童の生活上の課題を実態に応じて設定することができ、児童はそれらを解決する必要感を持ちやすい。課題によって指導者の接し方を変え、一人一人が力一杯に取り組めるように配慮することで、児童の実態に応じた活動になるようにした。また、家庭を離れて学校に宿泊する楽しみに加え、買い物、調理、食事、銭湯での入浴、レクリエーション、ビデオによる振り返りなど、児童が興味を持って取り組みやすい活動が多くあり、一人一人がそれぞれに意欲的な活動ができたと思われる。

(2) 児童が自己決定する必然性のある活動内容であったか。

①係活動の決定…係活動に対する強い意欲は、感じにくかった。今までの経験から児童自信で決定することはできたが、係活動の必要性や意義についての理解をさらに図る必要があった。

②夕飯メニューの決定…児童が楽しみにしている活動の一つであり、大変な意欲が感じられた。メニューの決定については、今までの経験から食べたいものを選ぶことができた。

③グループ名の決定…好きなキャラクターの名前に決めるという楽しみがあり、集団への所属感も加わって意欲的に取り組めた。

④レクリエーション内容の決定…歌や踊りに対する大きな意欲と、時間的な制限とが加わって、候補にあがった歌や踊りの中から、どうしてもやりたいものを決定することができた。

⑤買い物の分担の決定…調理活動の意欲と重なって、買い物に対する意欲は大きかった。今までの経験を生かした決定の仕方と、興味のある食品から決定する2通りの方法が見られた。

⑥朝食の決定…自分が食べるという必要感と楽しみに支えられて、多くの食品の中から選ぶことができた。

(3) 児童が決定したことを尊重できる環境であったか。

①係活動の決定…宿泊学習の中に、係活動ができる時間とって位置づけた。

②夕飯メニューの決定…児童がそれぞれ決定したメニューは、1種類ではなかったが、調理器具と指導上の関係から、1種類になるように話し合いを持った。調理器具の整備と指導上の工夫を凝らし、2種類以上のメニューが可能となるような環境を考えていく必要がある。

③グループ名の決定…決定してからは、グループ名で呼んだり、キャラクターの絵カードを使用するなどした。

④レクリエーション内容の決定…決定したとおりにプログラムを作成し、高学年児童の司会、進行でレクリエーションを行った。

⑤買い物の分担の決定…決定した食品の絵カードをもとに自分で食品を探し、お金を支払い、学校まで持って帰った。

⑥朝食の決定…決められた食品を決められた値段内で選んだものであれば、全て認めるようにした。買った物に名前をつけ、翌朝混乱することなく食べられるようにした。